



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社カナミックネットワーク 上場取引所 東
コード番号 3939 URL http://www.kanamic.net/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 拓真
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部部長 (氏名) 若林 賢也 (TEL) 03-5798-3955 (代表)
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,446	40.8	844	21.5	668	19.6	675	19.5	458	12.9
2023年9月期第2四半期	1,736	62.6	694	35.7	559	28.6	565	29.9	405	35.5

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 460百万円 (13.9%) 2023年9月期第2四半期 404百万円 (34.1%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+のれん償却額

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	9.65	-
2023年9月期第2四半期	8.55	8.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	5,606	3,374	60.2
2023年9月期	5,653	3,174	56.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 3,374百万円 2023年9月期 3,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	5.50	5.50
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	36.1	1,780	28.5	1,400	27.7	1,400	26.5	1,000	31.0	21.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+のれん償却額

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	48,132,000株	2023年9月期	48,132,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	673,706株	2023年9月期	659,906株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	47,467,570株	2023年9月期2Q	47,461,726株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明及び決算説明会の内容の入手について）

当社は2024年5月13日（月）に証券アナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が足踏みもみられるものの、緩やかに回復している状況となっております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、超高齢社会の到来に伴い、介護費、介護保険サービス利用者数及びサービス提供事業者数は増加し、介護事業全体の底上げが続いております。2024年度の介護保険制度改正では、医療・介護をつなぐ地域包括ケアシステムの更なる深化・推進やLIFEを活用した科学的介護に加え、リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組等による自立支援・重度化防止など、医療・介護の連携と介護事業の効率化がより一層求められる一方で、介護職員の処遇改善や生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり（医療DX、介護DXに関わる加算）など、介護事業の持続可能性もあわせて求められる改正となっております。

このような状況のもと、当社グループは、医療・介護をつなぐ地域包括ケアを実現するシステムを提供していることから、各省庁との共同プロジェクトに参加し、国の政策と同じ方向性をもつシステム開発会社となるよう努めるとともに、介護保険制度改正に対応する準備を整え、継続して適時にシステム改修を行い、システム利用者の負担軽減により、ユーザーの利便性の向上を図っております。総務省の「IoTサービス創出支援事業」の実証実験を通じて「カナミッククラウドサービス」を基軸とした介護における各種データの活用連携を進めるとともに、「東京都多職種連携ポータルサイト」を通じて、従来の市区町村に比べてより広範囲な都道府県単位での在宅療養推進体制に寄与するなど、当社グループの「カナミッククラウドサービス」で培った医療・介護連携のノウハウが地域の医療・介護連携に貢献しております。それらの高齢者支援事業とあわせ、多世代包括ケアの実現に向けた取組として「子育て支援システム」を通じて自治体の子育て支援事業の効率運用に寄与しております。あわせて、認定NPO法人健康都市活動支援機構と共同で自治体向け地域データヘルスシステムの標準化を目指したシステム開発を行うとともに、介護事業所数・サービス数ともに介護業界最大手のグループ企業であるニチイホールディングスに当社システムが採用されるなど、介護事業者への導入も積極的に進めております。一方で、当社グループにおけるシステムのプラットフォーム化の一環として、介護事業者における介護サービス利用者向け請求書・領収書の「発行」「連絡」業務に対するソリューションサービスとして、業務をWeb上で完結できるDX（デジタルトランスフォーメーション）サービスとしての「カナミックかんたんWeb明細」、実際の作業の事務代行を行う「カナミックかんたん郵送代行（BPO）」、介護サービス利用者向けの利用料決済サービス「カナミックかんたん電子決済サービス」及びコンテンツサービスの充実、人材データベースマッチングサービスや医療・介護事業者向け物販サービスの稼働、サービス付き高齢者向け住宅におけるIoT連携など、他社との業務連携を進めてまいりました。また、今後の事業規模拡大を目的として、株式会社Ruby開発の全株式を2023年8月4日付で取得し当社の完全子会社といたしました。株式会社Ruby開発はRuby言語によるシステム開発に特色を有し、機能開発スピードの速いアジャイル開発を求める企業側のニーズに沿ったスピーディな開発を得意としております。同社は当社グループの提供するクラウド・Webサービスの機能向上に高いシナジーが期待でき、当社グループが医療・介護・健康を包括したヘルスケア・ヘルステック企業として更なる付加価値の高いサービスを提供する上で大きな推進力になると判断しております。今後も当社グループの事業規模拡大のため、新たなM&A候補先の選定や新規事業の展開等を進めてまいります。

さらに、当社グループのシステムがプラットフォーム化に対応していくことに伴い、取得される患者・要介護者等の情報をビッグデータとして解析し、国や自治体、保険会社等が必要としているエビデンスを見つけ出すAIサービス等の展開を通じて医療・介護分野における地域連携をさらに推進させ、患者・要介護者、全ての医療・介護事業者にソリューションを提供するための研究活動も実施しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,446,366千円（前年同期比709,396千円増、40.8%増）、営業利益668,991千円（前年同期比109,691千円増、19.6%増）、経常利益675,282千円（前年同期比110,108千円増、19.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益458,071千円（前年同期比52,343千円増、12.9%増）となりました。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「クラウドプラットフォーム事業」の「健康寿命延伸サービス」はリアル店舗を活用したビジネスであり金額的重要性が増加し、今後も規模の拡大が見込まれることから当該サービスに関する情報を明瞭に表示するため新たな報告セグメントとし、その名称を「健康寿命延伸事業」として記載しております。それに伴い従来の「クラウドプラットフォーム事業」の名称をより実態に即したものとするため、「医療・介護クラウドプラットフォーム事業」へ変更しております。

詳細は、「4 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」をご参照ください。

セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

(医療・介護クラウドプラットフォーム事業)

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i カナミッククラウドサービス

本サービスにつきましては、ストックビジネスをメインとしており、既存顧客のストック部分をベースに、継続的な新規顧客の獲得を続けた結果、売上高は1,275,395千円（前年同期比126,104千円増、11.0%増）となりました。

ii プラットフォームサービス

本サービスにつきましては、大手介護事業者からの依頼によるホームページ構築業務や公益財団法人介護労働安定センターを通じた介護事業社向けホームページの受託制作、運営・管理が安定した収益基盤となっており、また介護関連情報を提供するインターネット広告サービスや介護業界における人材マッチングサービスなどが好調に推移した結果、売上高は212,663千円（前年同期比110,985千円増、109.2%増）となりました。

iii その他サービス

本サービスにつきましては、前連結会計年度で大口顧客向けカスタマイズ開発の受託があったため、売上高は64,164千円（前年同期比37,446千円減、36.9%減）となりました。

これらの結果セグメント売上高は1,552,223千円（前年同期比199,643千円増、14.8%増）、プラットフォームサービスの人件費等の売上原価や販売費及び一般管理費が増加したことによりセグメント利益は641,383千円（前年同期比88,831千円増、16.1%増）となりました。

(健康寿命延伸事業)

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i 健康寿命延伸サービス

本サービスにつきましては、24時間営業のフィットネスジムの運営・フランチャイズ展開、及びそれらリアル店舗を通じた健康寿命延伸に資するサービスの提供をしており、既存店舗の利用者が順調に増加するとともに新規出店による店舗数増加の結果、売上高は612,789千円（前年同期比228,399千円増、59.4%増）となりました。

当セグメントは上記の1サービスのみであり、セグメントの売上高は健康寿命延伸サービスの売上高と同額となります。また、将来の事業規模拡大を目的とした新規出店及び本部人員の増加等により一時的なコストが増加しておりますが、それを上回る売上高によりセグメント利益は14,696千円（前年同期比4,659千円増、46.4%増）となりました。

(ソリューション開発事業)

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i ソリューションサービス

本サービスにつきましては、前第4四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております株式会社R u b y 開発におけるW e b サービス企画・開発の業績となります。当該企業のみなし取得日を2023年8月31日としたため、前第4四半期連結会計期間より当該企業の業績を連結しており、W e b サービス企画・開発が好調に推移した結果、売上高は281,354千円となりました。

当セグメントは上記の1サービスのみであり、ソリューションサービスの売上高から売上原価や販売費及び一般管理費を差引いたセグメント利益は33,978千円となりました。

(利益の概況)

売上高が増加する一方でフィットネスジムの新規出店に伴う運営費の増加や前第4四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた株式会社R u b y 開発の売上原価が計上されたことにより、売上原価も前年同期に比べ485,036千円増加し953,603千円となりました。この結果、売上総利益は1,492,762千円（前年同期比224,360千円増、17.7%増）となりました。また、前第4四半期連結会計期間より株式会社R u b y 開発の業績を連結し当該企業の販売費及び一般管理費が加わったことにより、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ114,668千円増加し823,771千円となりました。この結果、営業利益は668,991千円（前年同期比109,691千円増、19.6%増）となりました。

営業外収益は保険解約返戻金が発生したこと等により前年同期に比べ6,214千円増加し14,841千円となり、営業外費用は借入金に対する支払利息の増加やリース解約損が発生したこと等により前年同期に比べ5,797千円増加し8,550千円となりました。この結果、経常利益は675,282千円（前年同期比110,108千円増、19.5%増）となりました。車両売却により固定資産売却益2,814千円、株式会社R u b y 開発が保有していた株式を売却したことにより関係会社株式売却益5,897千円がそれぞれ発生し、特別利益が8,712千円となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は683,994千円（前年同期比96,197千円増、16.4%増）、法人税等合計が前年同期に比べ43,854千円増加し225,923千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は458,071千円（前年同期比52,343千円増、12.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ46,190千円減少し、5,606,868千円となりました。これは主に、営業活動により売掛金が130,389千円、フィットネスジムの新規店舗開設等により有形固定資産が59,780千円それぞれ増加する一方で、法人税及び配当金の支払や借入金返済により現金及び預金が187,003千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ245,745千円減少し、2,232,364千円となりました。これは主に、返済により借入金が135,018千円、当第2四半期連結累計期間に属する収益を認識したことにより契約負債が133,743千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ199,554千円増加し、3,374,504千円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により458,071千円増加する一方で、配当金の支払により261,096千円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,685,522千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は438,481千円（前年同期は、338,642千円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益683,994千円、非資金項目である減価償却費148,064千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額129,944千円、契約負債の減少額133,743千円、法人税等の支払額195,470千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は194,314千円（前年同期は、242,036千円の使用）となりました。支出の主な内訳は、株式会社アーバンフィットの新規店舗開設に伴う有形固定資産の取得による支出119,060千円、カナミッククラウドサービスの新機能追加に伴う無形固定資産の取得による支出102,509千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は433,673千円（前年同期は、404,954千円の使用）となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出195,018千円、配当金の支払額261,096千円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日に公表いたしました2024年9月期連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,872,526	2,685,522
売掛金	183,489	313,879
商品	7,260	6,260
仕掛品	2,163	442
貯蔵品	400	1,712
前払費用	76,483	77,728
1年内回収予定の長期貸付金	1,250	1,233
その他	98,619	63,981
貸倒引当金	△8,393	△9,798
流動資産合計	3,233,800	3,140,961
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	631,848	689,533
車両運搬具(純額)	13,418	9,614
工具、器具及び備品(純額)	327,943	342,281
リース資産(純額)	19,995	18,795
建設仮勘定	7,238	—
有形固定資産合計	1,000,444	1,060,225
無形固定資産		
ソフトウェア	572,768	601,476
のれん	524,996	497,513
その他	76	76
無形固定資産合計	1,097,841	1,099,066
投資その他の資産		
関係会社株式	3,740	—
出資金	500	500
長期貸付金	25,888	25,417
破産更生債権等	2,215	2,126
長期前払費用	16,688	10,732
繰延税金資産	48,534	50,572
敷金及び保証金	201,272	199,721
保険積立金	24,299	19,648
その他	49	24
貸倒引当金	△2,215	△2,126
投資その他の資産合計	320,972	306,615
固定資産合計	2,419,258	2,465,906
資産合計	5,653,058	5,606,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,790	114,709
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	280,956	285,738
リース債務	7,482	6,625
未払金	136,796	135,088
未払費用	74,436	73,891
未払法人税等	207,026	231,991
未払消費税等	97,792	65,062
契約負債	368,273	234,529
預り金	30,721	22,625
賞与引当金	55,938	57,143
資産除去債務	16,000	16,000
その他	19,646	16,759
流動負債合計	1,405,859	1,320,164
固定負債		
社債	65,000	35,000
長期借入金	859,524	719,724
リース債務	6,060	3,211
繰延税金負債	58,410	65,434
資産除去債務	82,454	88,030
その他	800	800
固定負債合計	1,072,249	912,199
負債合計	2,478,109	2,232,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,060	192,060
資本剰余金	132,060	132,060
利益剰余金	3,247,776	3,444,750
自己株式	△404,938	△404,938
株主資本合計	3,166,957	3,363,932
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,991	10,571
その他の包括利益累計額合計	7,991	10,571
純資産合計	3,174,949	3,374,504
負債純資産合計	5,653,058	5,606,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,736,970	2,446,366
売上原価	468,567	953,603
売上総利益	1,268,402	1,492,762
販売費及び一般管理費	709,102	823,771
営業利益	559,300	668,991
営業外収益		
受取利息	111	259
有価証券利息	399	—
物品売却益	3,739	2,502
受取手数料	2,992	4,281
保険解約返戻金	—	6,548
雑収入	1,383	1,249
営業外収益合計	8,626	14,841
営業外費用		
支払利息	1,673	3,303
為替差損	899	586
固定資産除却損	—	716
リース解約損	—	3,852
雑損失	179	91
営業外費用合計	2,752	8,550
経常利益	565,174	675,282
特別利益		
固定資産売却益	22,622	2,814
関係会社株式売却益	—	5,897
特別利益合計	22,622	8,712
税金等調整前四半期純利益	587,797	683,994
法人税、住民税及び事業税	183,902	220,937
法人税等調整額	△1,832	4,986
法人税等合計	182,069	225,923
四半期純利益	405,727	458,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,727	458,071

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	405,727	458,071
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,165	2,580
その他の包括利益合計	△1,165	2,580
四半期包括利益	404,561	460,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,561	460,651
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	587,797	683,994
減価償却費	126,240	148,064
のれん償却額	9,289	27,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,337	1,315
受取利息	△111	△259
有価証券利息	△399	—
保険解約返戻金	—	△6,548
支払利息	1,673	3,303
リース解約損	—	3,852
固定資産売却損益 (△は益)	△22,622	△2,814
固定資産除却損	—	716
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△5,897
売上債権の増減額 (△は増加)	△183,263	△129,944
棚卸資産の増減額 (△は増加)	17,369	409
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,410	63,705
契約負債の増減額 (△は減少)	33,797	△133,743
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,020	1,139
その他	△21,493	△20,974
小計	517,184	633,801
利息の受取額	111	122
利息の支払額	△2,747	△3,240
法人税等の支払額	△175,906	△195,470
法人税等の還付額	—	3,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,642	438,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△177,604	△119,060
有形固定資産の売却による収入	89,392	4,202
無形固定資産の取得による支出	△129,719	△102,509
敷金及び保証金の差入による支出	△23,368	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,590
関係会社株式の売却による収入	—	9,637
長期貸付金の回収による収入	—	625
保険積立金の積立による支出	△736	△916
保険積立金の解約による収入	—	12,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,036	△194,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	60,000
長期借入金の返済による支出	△154,553	△195,018
社債の償還による支出	△100,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△3,572	△7,559
新株予約権の買入消却による支出	△4,464	—
配当金の支払額	△142,365	△261,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404,954	△433,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,015	2,502
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△310,364	△187,003
現金及び現金同等物の期首残高	4,552,730	2,872,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,242,366	2,685,522

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療・介護ク ラウドプラッ トフォーム事 業	健康寿命延伸 事業	ソリューショ ン開発事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	1,352,579	384,390	—	1,736,970	—	1,736,970
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	52	—	—	52	△52	—
計	1,352,632	384,390	—	1,737,022	△52	1,736,970
セグメント利益 又は損失(△)	552,552	10,037	—	562,590	△3,289	559,300

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,289千円にはセグメント間取引消去6,000千円、のれんの償却額△9,289千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療・介護ク ラウドプラッ トフォーム事 業	健康寿命延伸 事業	ソリューショ ン開発事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	1,552,223	612,789	281,354	2,446,366	—	2,446,366
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,440	—	3,720	5,160	△5,160	—
計	1,553,664	612,789	285,074	2,451,527	△5,160	2,446,366
セグメント利益 又は損失(△)	641,383	14,696	33,978	690,058	△21,066	668,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,066千円にはセグメント間取引消去6,416千円、のれんの償却額△27,483千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「クラウドプラットフォーム事業」の「健康寿命延伸サービス」はリアル店舗を活用したビジネスであり金額の重要性が増加し、今後も規模の拡大が見込まれることから当該サービスに関する情報を明瞭に表示するため新たな報告セグメントとし、その名称を「健康寿命延伸事業」として記載しております。それに伴い従来の「クラウドプラットフォーム事業」の名称をより実態に即したものとするため、「医療・介護クラウドプラットフォーム事業」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。